

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	西別府病院 多機能型事業所「ひだまり」 放課後等ディサービス		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 14日		令和8年 2月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 14日		令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>多機能型事業所であるため、幅広い年齢層の利用者と一緒に活動ができる。</li> <li>送迎時に利用中の様子を伝え、自宅での様子や保護者の意向等をタイムリーに聞くことができる。また、兄弟時との関わりなども知ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話しやすい雰囲気や環境作りを行っている。また、保護者と情報交換・共有を行い、職員とカンファレンスを実施し一人一人の児童に合った活動の工夫を考えている。</li> <li>年齢層が異なる利用者と一緒に活動することで、お互いに刺激を受け多様な価値観を共有できる。</li> </ul>	ミーティングだけではなく、カンファレンスを実施し職員の周知を行い、サービスの質の向上を図る。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院併設の事業所のため、医療ケアの高い利用者の受け入れも行っている。また、状態変化があったときには担当医に相談できる。</li> <li>病院のイベント等に参加することができる。</li> <li>個別性に沿った活動性の提供を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師が十分に配置されており、体調の変化が起こりやすい児童の状態に合わせてアセスメントを行い、異常の早期発見に努めている。また、個々の特性と医療的ケアに沿った観察や生活支援を行っている。</li> <li>言葉での表出が難しい児童に対して、表情の観察や視線、身体の動きなどの反応を確認しながら支援を行っている。</li> </ul>	職員全員が同じようにケアを行えるように、勉強会や研修の取り組みを継続して行う必要がある。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療度の高い方も、安心して入浴できる環境が整っている。</li> <li>院内に感染対策チームがあり、感染症の動向や対策について適宜知らせてくれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師が十分に配置されており、医療度の高い児童の状態に合った方法や時間の調整を行い、安心して入浴できるように支援している。また、介護者の負担が軽減できる。</li> <li>感染対策、予防や安全への配慮を行い、安心して過ごせる環境の提供。ワイプを使用し、適宜物品を清拭し環境整備を行っている。</li> </ul>	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害訓練が行われているが、利用者参加型の企画を立案する必要がある。	災害訓練の実施について、保護者へのお知らせが十分ではない。	災害訓練を含めた行事の連絡を行い、周知できるようにする。
2	事業所外へ行く活動がない。 父母の会の開催がない。	医療度の高い利用者が多いため、難しい所がある。 父母の会の開催については、家族から希望はないこと、当事業所が重症心身障害児を主に受け入れており	外出が難しい分、外部の方の訪問や交流する機会を検討する。
3	学校への片道送迎はあるが、自宅への送迎はない。	病院に配備されている送迎車が1台のみであるため、送迎が難しい。	自宅送迎以外(支援学校の片道送迎)を充実させ利用者・家族の安心に繋げる。